

VGB-3359(H)型 n連棟

建築面積 $19.07 \times n\text{ m}^2$ (5.77 × n坪) (間口柱芯寸法) × (奥行柱芯寸法)

構造耐力上主要な部分の部材

部材名	形状	板厚	使用材料	有効細長比
前柱	□-85 x 115 x 26.5	1.6mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	71.0
後柱	□-115 x 115 x 26.5	1.6mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	53.9
中柱(左右)	□-85 x 145 x 26	1.6mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	76.2
後柱(中)	□-85 x 85	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	73.4
前柱(中)	□-85 x 85	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	74.9
桁 前	□-336 x 79 x 20	1.6mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	
桁 中	□-183 x 79 x 30	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	
桁 後	□-153 x 85 x 14	1.2mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板	
梁	□-290 x 114	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	
壁パネル	△-25 x 70(350.5)	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板	
プレース	—	7.0Ø	一般構造用圧延鋼材	
ターンバッフル	—		建築用ターンバッフル胴	
アンカープレート	—	6.0mm 9.0mm	一般構造用圧延鋼材	

構造耐力上主要な部分以外の部材

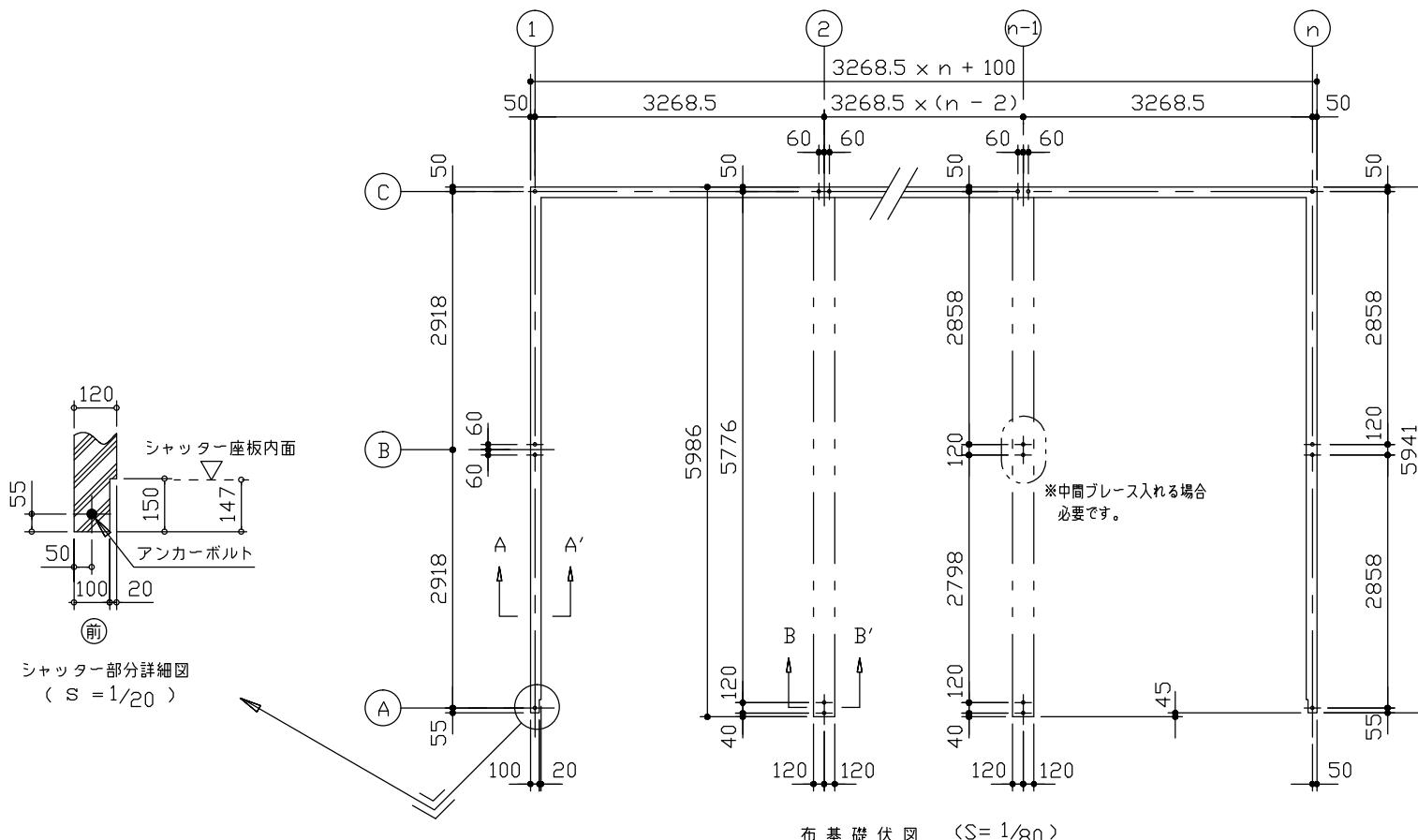
部材名	形状	板厚	使用材料
上 枠	J-360×46	1.0mm	塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板
下 枠	J-70×60	1.0mm	塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板
間 柱	C-24×31	1.2mm	塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板
屋 根	~~~ヨドループ88	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板
シャッタースラット	(-14.5×71	0.6mm	塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板
鼻 隠し 前	C-130×113	0.6mm	塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板
鼻 隠し 後	C-122×48	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板
ケ ラ バ	J-130×135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム・亜鉛合金めっき鋼板

- ・連棟する場合、強度上、下記条件で連結部に中間ブレース、もしくは間仕切りセットが必要になります。

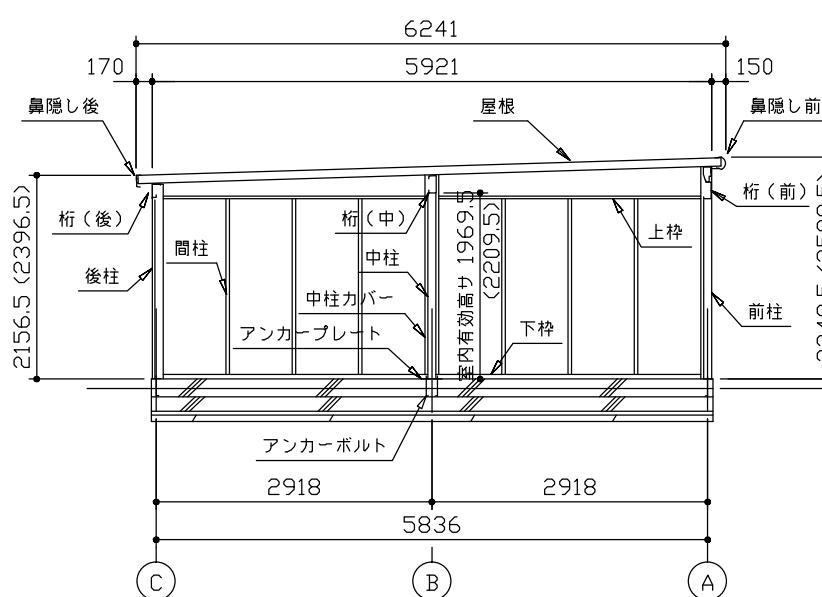
一般地型 (1200N/m^2)

版地主（REJUNTH）	
本体高さ	中間ブレース取付必要寸法
標準タイプ	間口10.57m以内に一ヶ所
Hタイプ	間口9.21m以内に一ヶ所

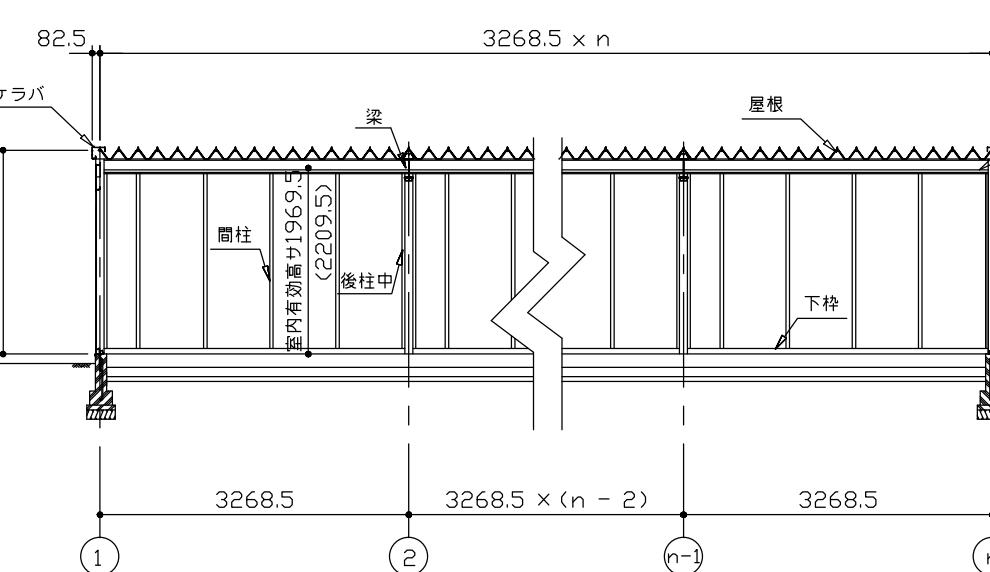
※風力(基準風速34m/s、地表面粗度区分III)による計算値



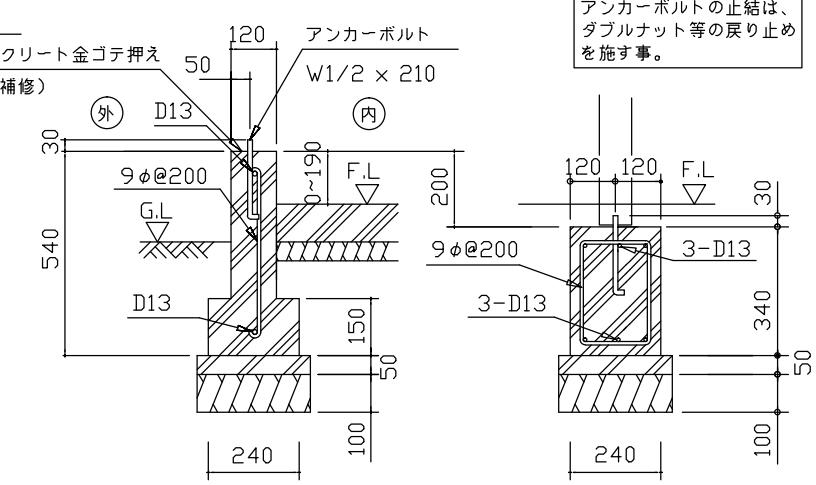
シャッター部分詳細図 (S = 1/30)



側面断面図($S=1/80$)



正面断面図 ($S=1/80$)



$$A \sim A' \text{断面}$$

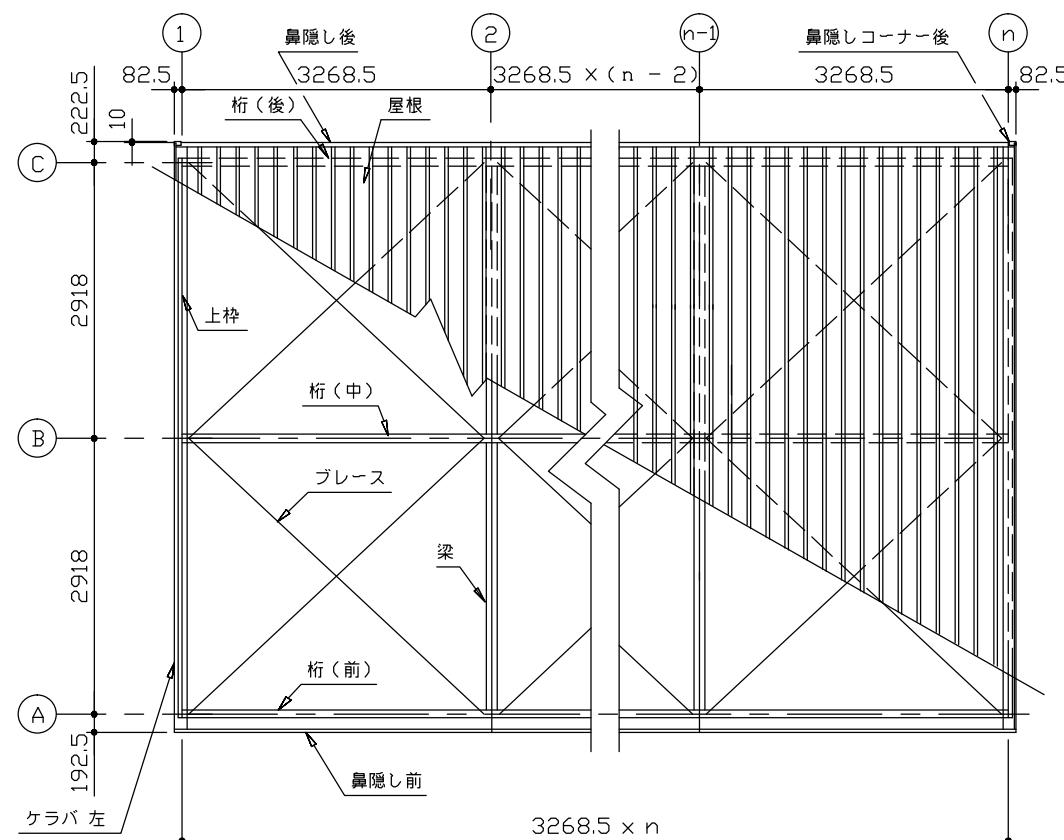
卷之三

◦() 内寸法は Hタイプヨシフ

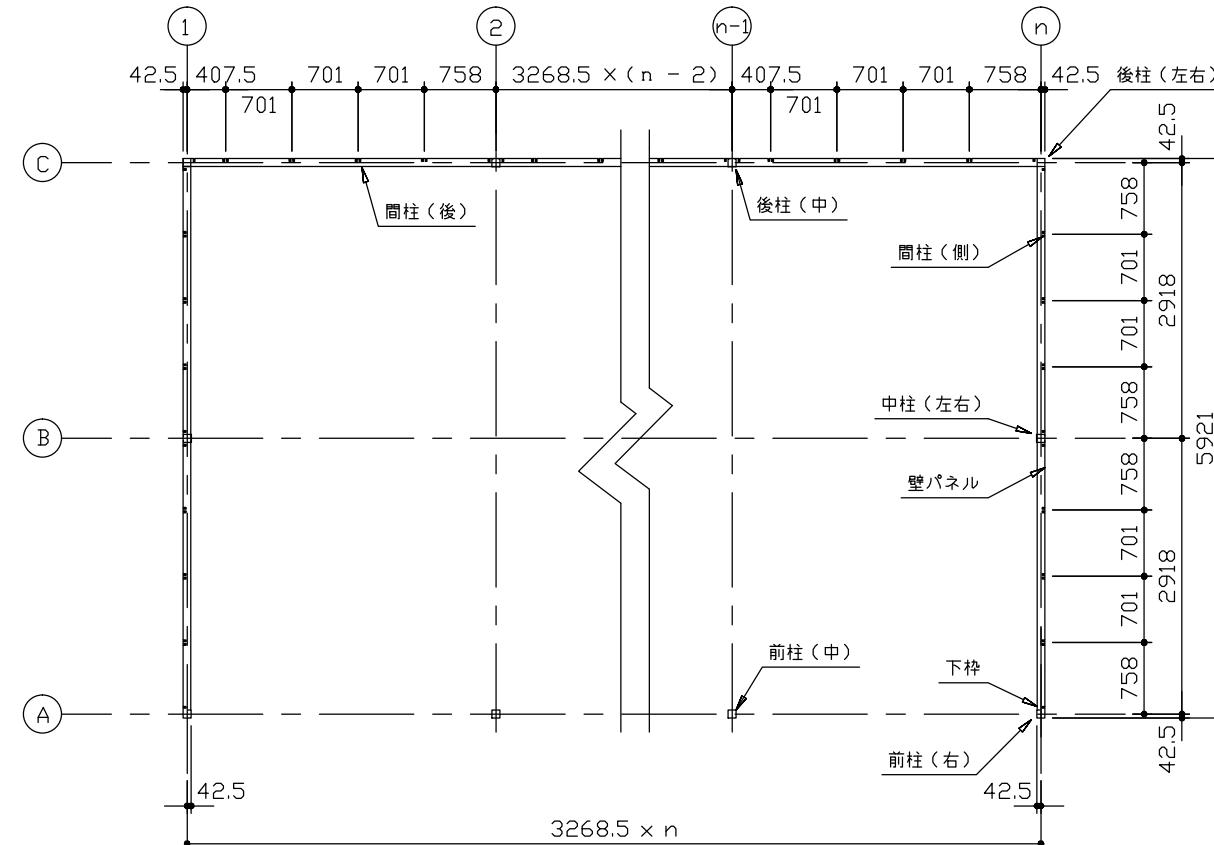
・有効高甘ハ 基礎高甘ヨ念ミフセシ

名称 ヨドガレージ ラヴィージュ VG型
機種名 VGB-3359(H)型 (n連棟)

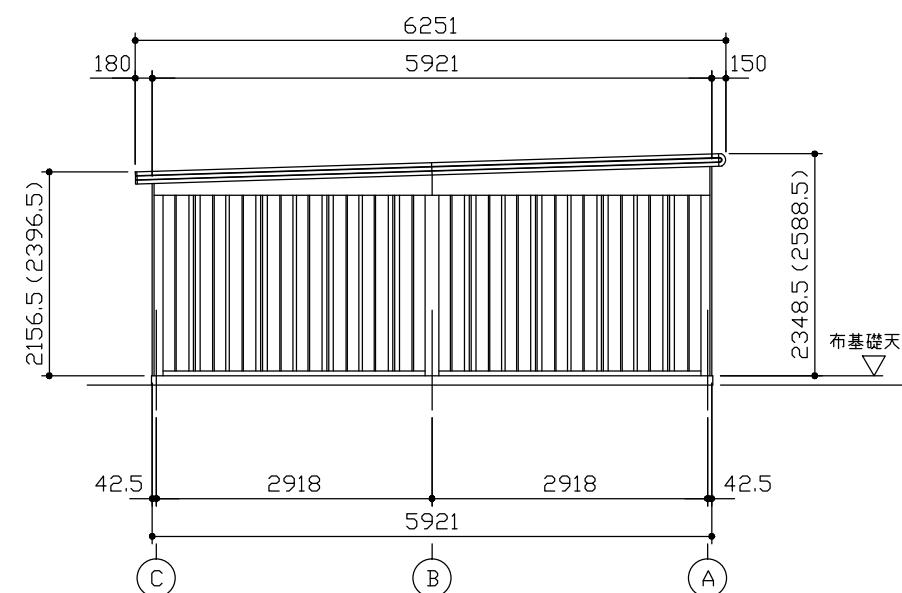
株式会社 淀川製鋼所



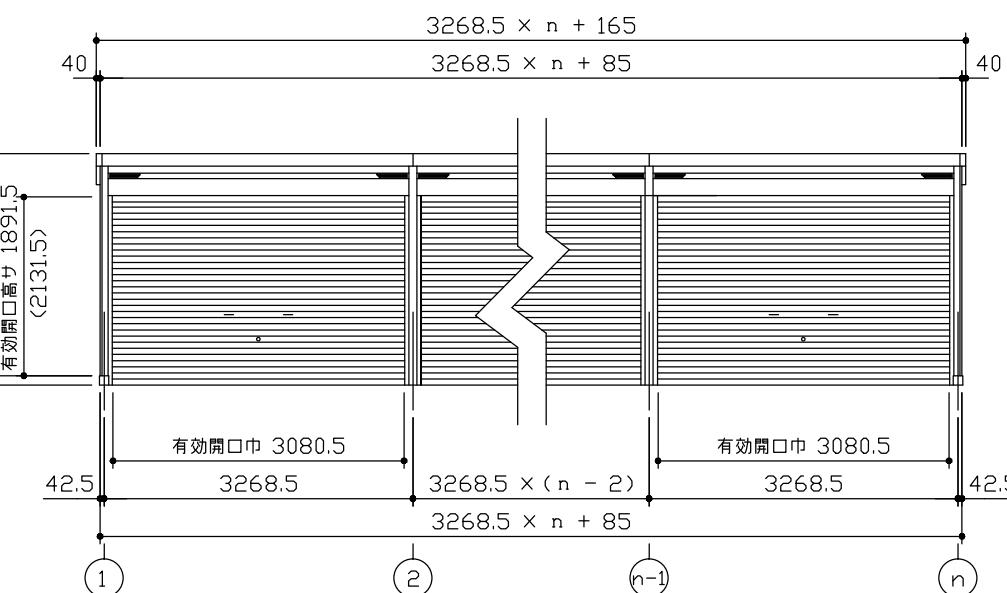
小屋伏図 ($S=1/80$)



平面図 ($S=1/80$)



側面立面図 ($S=1/80$)



正面立面図 ($S=1/80$)

連結する場合は強度上、下記間口寸法に一ヶ所
中間プレース、もしくは間仕切りが必要になります。
標準タイプ：間口寸法 10.57m以内に一箇所
Hタイプ：間口寸法 9.21m以内に一箇所

・() 内寸法ハ、Hタ イプラス。
・有効高サハ、基礎高サヲ含ミマセン。

名称	ヨドガレージ ラヴィージュ VG型
機種名	VGB-3359(H)型 (n連棟)

株式会社淀川製鋼所